

法説辻

岩手県曹洞宗布教師会三分間法話

いつでも会える

奥州市・江刺・守林寺住職

松 森 弘 隆

建具屋さん三代目のBさんは、当時小学校一年生であつたわが子を交通事故で亡くし、その後、約二十年間、毎朝休まず通学路で交通整理をしている方です。

そのBさんがこのような事故が二度と起こらないようにという思いはもちろん、次のような体験もあつて休まずに続けておられるのだということが最近になって知りました。

建具師初代のBさんのおじいさんは、ずいぶん苦労もしたが、名人といわれた職人で、その作品見事なものだったそうです。

Bさんは父である二代目からいつも目標にするように言われたもので、Bさんも一生懸命腕を磨くべく修

行していたそうですが、そういう時期に突然、我が子を交通事故で亡くし、仕事が出来なくなつてしまつて、悲しみにうちひしがれながら、泣いていたそうです。

そして一周忌を迎えた法要の日に、和尚さんの読經に手を合わせ祈つていると「大丈夫。大丈夫」というおじいさんの声と「お父さん、頑張つて」というわが子の声が聞こえたように思つたそうです。

しかし、翌日からその声の心の中に響くようになり、元気が出てきて、ふつきたよりに仕事に専念できるとなりました。

そして「ここは、こうするのだよ」とおじいさんが

導いてくれるのだそうです。しかも、思ったような作品が作れるようになったのだそうです。

そして、亡くなったわが子も「お父さんと一緒だよ」などともいつてくれるように感じられるのだそうです。それ以来、毎日、通学路の交通整理をし、墓参りも続けているそうです。

「亡くなつても祈れば、大切な人に、いつでも会えるんですよ」とBさんは、私に微笑を、静かに合掌しました。



心に残る
法話を
お聞き
下さい

曹洞宗岩手県宗務所

テレホン法話

☎ 0120-62-1602

ほとけに
出会う